

おおふな

2025年3月13日 No.73

発行者：小林洋一 編集：情宣部

JR東労組 大船支部

怒りが現場の声だ！！

業務部速報



No. 84
発行 25.3.11
JR東労組 業務部

格差1.5倍、夏季手当+0.1ヶ月のみでは
到底納得いかない！！

申16号 現場第一の姿勢で職責を超えて奮闘する職場の努力に報い、
生活とモチベーションの維持・向上の実現を求める緊急再申し入れ

本日提出！

会社回答に対する職場からの声

「物価高に賃金が追いつかない」「過去最高の働き度なのに」「ベアの格差拡大は認められない」「早期回答の春闘提案だ」金で取り戻した評価がプラス0.1ヶ月のかなり、不満や不信、納得できないの声。
会社から「最大限」として示された回答に職場からは、到底納得いかななどの多くの声。

申12号および申13号の団体交渉において、組合員・社員の厳しい生活実態や、過去最高の働き度となっている労働実態、離職やモチベーション低下に対する危機感を訴え、職場の本音と現実を会社として十分に把握し、判断すべきと強く求めました。
また、3月6日回答を受けた直後に、東北新幹線の列車が分離するという「重大インシデント」が発生し、運輸安全委員会から調査を受ける事態となりました。職場では輸送の確保と旅客案内に全力で取り組んでまいりました。あらためて、現場は職責を超えて奮闘していることを真摯に受け止め、職場の声に応える姿勢が求められています。
JR東労組は、JR総連春闘として一貫して掲げた要求と、組合員・社員の現実や声を大切にし、回答が示されて以降も職場議論を積み上げてきました。
したがって、現場第一の姿勢で職責を超えて奮闘する職場の努力に報い、生活とモチベーションの維持・向上を実現するため、

要求満額での回答を強く求めます！

新賃金と夏季手当の回答を撤回し、

1. JR東労組組合員・社員の基本給を一律15,000円引き上げること。
(定期昇給を含まない)
- エルダー組合員・社員の基本賃金を15,000円引き上げること。
2. 2025年度夏季手当を基準内賃金の3.2ヶ月とすること。

会社回答に対する声

- ・**納得できない。**こういう会社では諦めたくなる
- ・**もういい加減にして欲しい。**酷い。
- ・**(賃金が)全然上がらない。**安い。
- ・**物価が上がっているのに全然反映されていない。**
- ・**賃金が上がったという実感が全然湧かない。**
- ・**コメもすごく高い。**物価に追いついていない。
- ・**働きがいよりも金だ。**
- ・**花粉症の薬も買えない。**
- ・**ベアに格差は必要ない！**
- ・**夏季手当が低すぎる。**



東北新幹線列車分離について

- ・ただでさえ混雑する時期なのに、そこにプラスして今回の列車分離の影響で列車の変更や払い戻しで連日混雑。**定時で閉店できず、休憩時間を削った日もある。**
- ・**昨年も列車分離があったばかり。最近では線路破断も続いていて、列車の運行に不安を感じる。**
- ・**変更しようにも席が空いておらず立席になるケースも。お客さまに対して申し訳ない。**
- ・**お客さまからの苦情も相次ぎ、精神的に辛い。**
- ・**出札の窓口が少なく、対応しきれない。**
- ・**人手が足りないと改めて思う。**
- ・**事故直後は福島や盛岡で接続されるのかもわからない、何の説明もないまま切符を売らされる。**

新幹線協働委員会 ネットワーク No.36
2025年3月12日 発行
JR東労組 新幹線協議会
発行責任者 近藤隆行

職場から声を上げ「運行優先」から「安全第一」の風土をつくりだそう！

原因が明らかになっていないのに
東北新幹線3月14日から併合運転再開？



3月6日上野～大宮間を走行中、30218の乙編成とU編成がまたもや列車分離をするという重大な事故が発生以降、東北新幹線は併合運転を中止してまいりました。JR東日本は3月11日に記者会見を行い、3月14日から順次併合運転を再開すると発表しました。記者会見では乙編成に何らかの電気的な異常が発生したとしていますが、車両が分離をした根本的な原因については調査中とし、明らかになっていないことが示されました。当組合は、原因が判明し対策が完了するまで当然の限、併合運転をすべて取りやめるとしてまいりました。原因が判明していないにもかかわらず、暫定的な対応で併合運転を行うことに疑問を抱くを得ません。

JR東労組の新幹線協議会は、2024年9月9日に発生した3006号列車分離、幹線中環2号「東北新幹線」で発生した列車分離の原因究明と対策の実施を求める緊急申し入れを行い、「原因が判明していない中で併合運転再開は問題がある」と強く主張してきました。これに対し会社は、「車両等の状況から他編成で同様の事故が発生する可能性は低い」と併合運転再開の判断の問題は無いと回答してまいりました。これまでの取組を活かさない事となれば、JR東日本は安全よりも運行優先体質になっ

てしまっているのでは無いでしょうか！
職場の声
-原因が判明されていないのに、併合運転して大丈夫なのか。
-9月の事故で本当に原因が究明されていたのか。
-Plusで併合運転再開を知らず、社員が知らない間に物事が進んでおり、お客様に説明ができない。
-併合再開が決まっても、どのような作業が発生するのか説明が不安だ。本当に安全なのか。
-お客様に安全だと、どのように説明すればいいの。
-多くのお客様に「JR東日本は大丈夫か」と毎日言われ、精神的に大変だ。
-併合中止の対応で職場は疲弊している。



会社は現場の声を真摯に受け止め 満額回答すべきだ！！